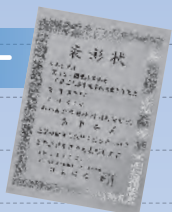


魅力ある高校生にインタビュー



明日へ ジャンプ

No.182

努力は報われると信じて 東日本高校弓道大会入賞へ

伊勢崎清明高等学校 2年 ^{はた なか たく ま} 畠中 拓真 さん



小学生の頃から習っている和太鼓と通ずる部分を感じ、弓道部への入部を決めたという畠中さん。そんな畠中さんに弓道の魅力を聞きました。

「弓道は再現性を求められる競技のため、慣れるまでに時間がかかりました。最初はなかなか的にあてることができず苦労しましたが、居残り練習やイメージトレーニングを繰り返すことで徐々に的中率が上がり、成長を感じることも増えました。同じ動作を繰り返すことは難しいですが、努力したことが結果に表れるのが弓道の面白いところだと思います」

懸命に練習に取り組み、努力を重ねた結果は大会の成績にも表れます。努力を証明したいという思いを胸に出場した関東高校弓道個人選手権選抜大会県予選会では、見事、男子個人7位に入賞し、関東高校弓道個人選手権選抜大会への切符を獲得しました。

「予選会では日頃の練習の成果を発揮し入賞することができました。今まで努力してきたことを表彰状として形に残すことができ嬉しかったです。しかし、選抜大会では予

選会の時よりも会場の雰囲気のにまれてしまい、実力を十分に発揮することができず、悔しい思いをしました」

選抜大会や新人戦での悔しさをばねに誰よりも努力することを心掛け、練習に取り組んだ畠中さん。11月に行われた東日本高校弓道大会県予選会では見事、団体3位に入賞しました。最後に来年3月に控えた東日本高校弓道大会に向けた意気込みを聞きました。「予選会では3位に入賞したものの、まだまだ経験不足を感じたため、改めて弓の握り方の研究や精神力を鍛える練習などを行いたいと思います。そして、本戦での入賞を果たせるよう頑張ります」

プロフィール

はたなか・たくま

小学5年生から和太鼓を習っており、現在はジュニアコンクールでの3連覇を目指し、日々練習に取り組んでいる。高校卒業後は医療系の大学に進学し、将来は小学生の頃からの夢である理学療法士になりたいと話す。

